

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

城里町 解答と解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	八溝山系に連なる鷄足山(けいそくさん)は、標高約430メートルで、城里町と栃木県茂木町にまたがる山です。頂上からの眺望がすばらしく、東に太平洋、西に日光男体山、南に筑波山、北に那須連山が見え、さらに条件がよければ富士山も見ることができます。弘法大師(こうぼうだいし)にまつわる伝説が多く残されており、大師が修業したという護摩焚石(ごまたきいし)などが山中に残されています。	2
2	1926年(大正15年)に開業した茨城鉄道は、「いばてつ」の愛称で親しまれ、城里町の常北・桂地区と水戸を結ぶ重要な交通手段でした。1944年(昭和19年)に茨城交通茨城線となりましたが、戦後は社会事情の変化により数次にわたって路線が短縮され、1971年(昭和46年)に全線廃止となりました。	4
3	【お米日本コンテストinしずおか2011】で、全国各地のコメ(米)がおいしさを競い、ななかいの里生産研究部会員2名のコシヒカリが最優秀賞と優良賞を受賞し、日本一おいしいコメ(米)に輝きました。「ななかいの里コシヒカリ」は、同コンテストでその後も連続して上位に入賞し、安定したおいしさを維持しています。	2
4	2019年(平成31年)の4月1日現在の城里町の常住人口は、18,569人です。選択肢2の19,258人、3の20,444人、4の21,606人はそれぞれ2017年(平成29年)、2014年(平成26年)、2011年(平成23年)の4月1日の常住人口です。町村合併により城里町が誕生した2005年(平成17年)2月1日の町の人口は22,915人でした。町では、人口維持対策として子育て支援をはじめ、さまざまな施策を実施しています。	1
5	城里町民憲章は2006年(平成18年)12月8日に制定され、「わたしたちは、豊かな自然と伝統を大切に、ともに輝く住みよいまちづくりをめざす城里の町民です」の前文に続く5つの文からできています。最初の文は「自然を愛し、水と緑の美しいまちにしましょう」です。	3
6	黒澤止幾(くろさわ とし)は、1807年(文化3年)高野(こうや)村(現城里町錫高野(すずこうや))の修験者の家に生まれました。現在の常陸太田市に嫁ぎますが、夫と死別して生家に戻り、小間物などの行商で実母と二人の娘との生活を支えました。各地の文化人と交流して教養を積み、やがて生家で営んでいた私塾の師匠となり、1873年(明治6年)の学制発布後は自宅の私塾を小学校として開放し、我が国の女性教師のさきがけとなりました。1859年(安政6年)には、幕府に処罰を受けた水戸藩主徳川斉昭(とくがわ なりあき)の無実を訴えるために京に上り、幕末の女傑としても歴史に名を残しています。	4
7	城里町の坏(あくつ)地区では、地区特産品の赤ネギ(レッドポアロー)を明治の初期頃から生産してきました。レッドポアローのポアローはフランス語でネギという意味です。その鮮やかな赤い色と、やわらかく、甘い肉質は、鍋物・ぬた・サラダ・薬味などにピッタリです。	2
8	中心の赤い円を緑の「し」と青の「ろ」が包むデザインの城里町の町章は、2005年(平成17年)3月25日に制定されました。使われている色は、田園のさわやかな緑と、豊かな水の青、町民の融和を示す丸い赤の三色で、黄色は使われていません。	3
9	2015年(平成27年)1月1日現在、城里町の土地のうち農地は17.8パーセントです。山林が60.7パーセント、宅地は4.4パーセント、その他が17.1パーセントです。	2
10	城里町の町域は東西に約19キロメートル、南北に約13キロメートルの総面積161.80平方キロメートルです。茨城県では16番目の広さで、県の面積に占める割合は約2.7パーセントです。	3
11	城里町の鳥ウグイスは、城里町の花ヤマユリ、城里町の木スダジイとともに2006年(平成18年)12月8日に制定されています。町内全域に生息し、春を告げる美しい鳴き声の特徴です。	1
12	頓(徳)化原(とっけはら)古墳は、茨城県埋蔵文化財センター(旧北方(きたかた)小学校)に隣接する全長35メートル、高さ1.5メートルの古墳で、7世紀頃に作られました。城里町内の遺跡では唯一明確な石室が残されており、町文化財に指定されています。	4
13	ダム建設以前の藤井川流域は、洪水被害が絶えず、茨城県は1956年(昭和31年)に防災ダムとして藤井川ダムを建設しました。1977年(昭和52年)に多目的ダムとして改造され、平成3年度から平成21年度まで、城里町の水道用水の新規開発等を目的に再開発事業が行われました。ダム湖は、常北(じょうほく)地区清音(せいおん)寺の伝説になみ「うなぎ地蔵湖」という名前が付けられています。	4
14	「春慶(しゅんけい)」は、生地に透明な漆を塗って、木目が透けて見えるように仕上げる漆塗りの技法です。城里町粟で作られてきた「粟野春慶(あわのしゅんけい)」は、秋田県の能代(のしろ)春慶、岐阜県の飛騨(ひだ)春慶と並び称せられ、製品の中心は、盆・重箱・硯(すずり)箱などです。分業制をとらず、木取りから完成までのすべての工程が同じ職人の手作業で行われています。	2
15	イチリンソウは、茨城県のレッドデータブック2012年(平成24年)改訂版植物編に、準絶滅危惧種として城里町で撮影された写真入りで掲載されています。町内で見られる植物では、他に、ヒイラギソウ、カワラナデシコ、アズマイチゲも絶滅が心配されています。	3
16	城里町にある国指定重要文化財は2つで、いずれも彫刻です。石塚の薬師寺の木造薬師如来と両脇侍像(もくぞうやくし)によらいおよびりょうわきじぞう)は、薬師座像と両脇侍の三像で、薬師像には銅造の胎内仏が納められています。上入野(かみいりの)の小松(こまつ)寺の木造浮彫如意輪観音像(もくぞうきぼりによりんかんのんぞう)は、平重盛(たいらのしげもり)の守護仏と伝えられ、縦横約8センチメートルの大きさながら、精巧な作りです。	1
17	現在の那珂川大橋(なかがわおおはし)は1949年(昭和24年)、千代橋(せんたいばし)は1988年(昭和63年)、大桂大橋(だいきいおおはし)は1991年(平成3年)にそれぞれ完成しています。城里町を流れる那珂川にかかる4つの大きな橋のうち、最も新しいのは那珂西大橋(なかにしおおはし)で、2014年(平成26年)10月22日に開通しています。いずれの橋も、城里町の交通・流通に重要な役割を果たしています。	4
18	宝幢院(ほうどういん)は、1369年(応安2年)に那珂西(なかさい)の赤羽経塚に建てられたと伝えられており、1696年(元禄9年)に徳川光圀(とくがわみつくに)によって現在地に移され、真言宗の勧学所(かながくじよ:学問所)となりました。寺の周囲には、那珂西城という中世の城の土塁や堀の跡が見られます。	2
19	藤井川ダムカレーは、県立水戸桜ノ牧高等学校常北校(城里町)と常磐大学(水戸市)の学生らが中心となり、町が支援して2016年度からプロジェクトを進め、2017年(平成29年)にクラウドファンディングで資金を集めて、2018年(平成30年)に健康増進施設「ホロルの湯」のレストランでのメニュー化が実現しました。藤井川ダムを上空から見た形をご飯やカレールーで表しており、城里町産の食材として、シイタケやマイタケ、コメや城里町の豚肉「キングポーク」を使っています。	3
20	城里町の小松(こまつ)寺には、平重盛(たいらのしげもり)の墓と伝えられる「伝内大臣平重盛墳墓」があり茨城県指定史跡となっています。平重盛は、平清盛(たいらのきよもり)の長男で、後継者として期待されていましたが、父に先立ち42歳で病死しました。1182年(永寿元年)、家臣の平貞能(たいらのさだよし)は重盛夫人を伴い、重盛の遺骨を抱いて関東を下り、出家して重盛の菩提(ぼだい)を弔(とむら)ったとされています。重盛は、京の小松に居を構えたことから「小松内大臣」と呼ばれ、寺の名もそれにちなみます。	1
21	城里町ブランド推奨品は2010年(平成22年)から選定されていますが、2019年(令和元年)7月1日現在の推奨品の数は51です。農産品、加工品、工芸品の各分野で認定された推奨品は、米、野菜、肉、菓子、大豆製品、酒、漆芸品、木工品、衣料、雛人形などで、どれも城里町が誇る逸品です。	2
22	高取(たかとり)鉱山が開かれたのは約400年前の佐竹藩時代です。当時は金の採掘が主な目的でしたが、同時に銀、錫(すず)も掘っていました。明治時代には、タングステンの材料として鉄マンガン重石(じゅうせき)を採掘し、タングステンの生産量では、全国有数の規模を誇りました。1914年(大正3年)に第一次世界大戦が勃発すると、重石の需要は増大し、鉱山は急激に発展しましたが、大戦後は事業を縮小し、1931年(昭和6年)に閉山しました。	4
23	江戸川区と城里町の交流は、両親が旧桂村の出身だった当時の江戸川区議会議員の呼びかけで、平成元年度の江戸川区民まつりに旧桂村が参加したことが始まりです。2015年(平成27年)には災害時相互支援協定を締結し、さまざまな交流イベントを実施しています。	1
24	城里町御前山(ごぜんやま)地区の那珂川岸から、那珂川大橋と御前山を望む景色が京都の嵐山(あらしやま)に似ています。一帯ではハイキングやキャンプ、釣りやカヌーなどもでき、毎年多くの観光客が訪れています。	3
25	城里町は、水戸市、笠間市、常陸大宮市、那珂市、栃木県芳賀郡茂木町の5つの自治体と隣接しています。	4